

歯科衛生だより

発行人/吉田 直美
発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023
https://www.jdha.or.jp/

2024 August vol.82

歯科衛生士を取り巻く医療の未来を変えるデジタル変革と患者と医療従事者への恩恵 ～AIやIoTがもたらす新時代の医療サービスとは?～

一般社団法人AI・IoT普及推進協会代表理事 **あ べ みつる**
一般社団法人ロボティクス・オートメーション普及推進協会代表理事 **阿部 満**

デジタル技術の進展が医療業界に新たな変革をもたらしています。特に歯科医療の現場では、AI(人工知能)*1やIoT(モノのインターネット)*2の活用が目覚ましく、これらの技術がどのように歯科衛生士の日常業務を支援し、患者ケアの質を向上させているのか、本記事にて具体的な事例を交えてご紹介します。

まず、最初に以下の絵をご覧ください。

この絵は生成AI(ChatGPT)が作り出したイメージの絵です。

生成AIにAI・IoTによる歯科のイメージに関して、文章で指示文(プロンプトと言います)を書いて、ほんの1分程度で生成した絵です。

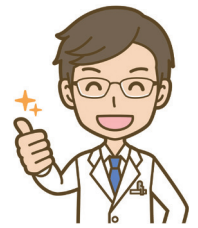


生成AIで作出した絵1

もちろん、この絵は著者の私の著作権になるわけですので、そのまま利用しても、どこかのイラストレーターの方の著作権侵害になることはありません。

私は絵描きのセンスもありませんし、こうしたイラストを描いたことはありませんが、素人の私でも簡単にこのような絵ができます。

こうしたことは日々進化していて、今後益々、こうしたテクノロジーが進化していくことで私たちの生活も豊かになると思います。



THE 19th ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR DENTAL HYGIENE
日本歯科衛生士会 第19回学術大会
ライフコースを通じた
健口文化の醸成

会期 2024年 9月21日(土)～23日(月)
会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
開催形式 ハイブリッド開催(会場開催+オンデマンド配信)

9月21日 14:00-16:00 特別講演 歯科衛生士の活動を学術へ <small>「AI時代の歯科衛生士の活躍」</small> 9月22日 10:00-16:30 特別講演 近安量予防における家庭・歯科連携の推進 <small>「家庭・歯科連携の推進」</small> 特別講演 大学病院における訪問歯科の取り組み実践 <small>「訪問歯科の取り組み実践」</small> 特別講演 新薬開発の魅力と課題 <small>「新薬開発の魅力と課題」</small> 特別講演 口腔医療・ポスター発表 <small>「口腔医療・ポスター発表」</small> 9月23日 9:15-16:00 特別講演 AI時代の口腔予防管理 <small>「AI時代の口腔予防管理」</small> 特別講演 日本歯科衛生士会 <small>「日本歯科衛生士会」</small>	9月23日 9:15-16:00 特別講演 健口文化の醸成を推進したライフコースアプローチ <small>「健口文化の醸成を推進したライフコースアプローチ」</small> 特別講演 歯科保健推進における行政の立場から <small>「歯科保健推進における行政の立場から」</small> 特別講演 歯科保健推進における歯医者の立場から <small>「歯科保健推進における歯医者の立場から」</small> 特別講演 介護・高齢化社会における地域活動 <small>「介護・高齢化社会における地域活動」</small> 特別講演 歯科衛生士の立場から <small>「歯科衛生士の立場から」</small>
--	--

日本歯科衛生士会 第19回学術大会
9月21日(土)～23日(月)
新潟県 朱鷺メッセで開催いたします!

AIやIoTは、歯科医療においてさまざまな形で利用されています。AIによるディープラーニング(深層学習)^{*3)}は、病気の早期発見や診断精度の向上に寄与し、IoT技術は患者の健康状態をリアルタイムでモニタリングし、データを医師や歯科衛生士に提供しています。

例えば、AIを活用した画像診断システムは、従来の診断方法に比べて、より微細な異常を検出する能力があります。これにより、初期のむし歯や歯周病など、早期に治療を始めることができる疾患を見つけ出すことが可能となりました。

具体的には、AIが解析したデジタルX線画像から、歯科医師が病変を確認しやすくなっています。

従来の口内線源パノラマX線装置では、口腔内にX線源を入れて口腔外にフィルムを置き、上下顎または左右顎を別々に撮影します。デジタルパノラマX線診断装置では、微弱なX線を電子データに直接変換して高感度かつ高分解能な断層画像を提供します。デンタルX線撮影(口内法撮影)装置では、小さなフィルムを口の中に置き、1本ずつの歯を精密に撮影します。

頭部X線規格撮影装置は、矯正歯科領域で歯・顎を含む頭部の経時的变化の正確な計測が必要とされるため使用されます。

この口内線源パノラマX線装置にAIを利用すると歯科パノラマX線画像において、各種疾患(う蝕、根尖病巣、根分岐部病変、顎骨嚢胞)の診断目的のために、およそ3万枚以上の教師データを用いて、ディープラーニングにより開発した人工知能で診断支援し、その結果を画像上に表示することが可能となります。

このことで医師の経験の違いなどから差が出ることもある歯科パノラマX線画像の読影については、医療の標準化に加え、AIによるダブルチェックを行うことができるようになりました。

X線装置のAI診断は、歯科医師をサポートし、診断の質の向上や医師の業務負担軽減を目指すことが可能となりました。

次にAIによるデータ解析能力を利用して、個々の患者に最適な治療計画を立てる方法です。

これは、過去の類似ケースから得られた知見を基にしており、治療の成功率を高めるとともに、必要な治療時間を短縮します。

少子高齢化社会での医療費削減圧力のある歯科業界では、治療品質の向上とともに経費削減が求められています。

まず、AIによる治療計画を立てるには初診時に部位の病名を入力します。AIがその病名に対応する治療の事例を確信度が高い順に列挙します。

歯科医師は病名が進行するとどうなるかを患者に画像で説明し、歯科医師は治療の事例の中から1つあるいは複数患者に説明を患者と相談しながら治療計画を修正するこ

とで患者の同意を得ながら治療計画を決定することが可能です。

再診時は、治療計画と実際の状況から再度今後の治療計画を相談可能となります。常に最適な治療計画を患者に説明することが可能となります。

これによりAIによる治療計画は情報が可視化され、効果的に患者に説明でき、結果的に信頼される歯科治療を提供でき、患者の信頼が得られ、増患に繋がるようになりました。



生成AIで作出した絵2

今度はIoTについてです。例えば、IoTのセンサー機器を歯磨きにセットすることで、患者の歯磨きの習慣や口内環境を記録し、これを歯科衛生士や医師がアクセスできる形で提供します。

これにより、患者一人ひとりに合わせた口腔衛生指導が可能となり、効果的な予防策を講じることができるようになりました。



患者はIoT機器を使うと歯磨きの回数や時間、磨いた部位などをセンサーで記録。近距離無線通信技術のBluetoothで専用のスマートフォンアプリに送り、歯磨きを自己点検でき、より健康的な歯を維持できるようになりました。

全国的にこれらのAIやIoTの技術が段階的に導入されることで、患者への対応力が向上し、より多くの人々が質の高い医療サービスを提供できるようになることでしょう。

そして今回ご紹介したこれらの技術は、歯科医療だけでなく、広く医療業界全体の質と効率を飛躍的に向上させる可能性を持っています。歯科医療にAIやIoTの導入が進むにつれ、より個別化された治療と、効率的な医療サービスが現実のものとなり、患者と医療従事者双方に恩恵をもたらしています。

このように、AIとIoTによるDX(デジタルトランスフォーメーション)^{※4}は、歯科業界にも革新的な影響を与えており、歯科診断の精度向上や歯科衛生士の業務効率化に貢献しています。

最後に今まで説明してきた歯科業界におけるこれらの技術を総合的に合わせて提供している東京に位置する大手の歯科クリニックの事例をご紹介します。

既に説明の通り、同クリニックではAIを利用した画像診断技術を導入しています。

この技術は、デジタルX線やCTスキャンの画像から、AIが自動で歯の病変を識別し、診断を支援します。



上記も生成AIで作出した絵3です。

AIは、むし歯、歯周病、さらには歯根の問題など、微細な異常を検出する能力に優れています。歯科医師はAIの分析結果を参考にして、より正確な診断を行い、適切な治療計画を立案することが可能です。この技術により、診断のスピードと正確性が大幅に向上しており、患者の治療結果にも好影響を与えています。

また、同クリニックではIoT技術を活用した患者モニタリングシステムも導入しています。患者は特定のIoTデバイスを使用して自宅での口腔ケアを行い、そのデータはリアルタイムでクリニックのデータベースに送信されます。この情報には、ブラッシングの頻度や時間、圧力、さらには口腔内のpHレベルなどが含まれています。歯科衛生士や医師はこれらのデータを用いて、患者の口腔衛生状態を遠隔で監視し、必要に応じてカスタマイズされたフィードバックや指導を行います。

特に予防歯科において効果を発揮し、患者の日常生活における口腔ケアの質を向上させています。

これらの技術を用いることで、同クリニックでは診断の精度を高め、治療計画の最適化を図り、患者の継続的な健康

管理を効率的に行うことができるようになっています。

日本の歯科診療所の中でもこのような特に先進的な取り組みは、AIやIoT技術の導入によってより高いレベルの患者ケアを実現しており、他のクリニックにとっても模範となっています。

患者は自身の口腔の健康についてより深く理解し、日々のケアに積極的に参加するようになります。

一方で、歯科衛生士は効果的な予防ケアを提供しやすくなり、治療の質が向上するとともに、患者とのコミュニケーションも強化されます。これらの技術を活用することで、歯科診療所は患者満足度の向上と業務効率の向上の両方を達成しています。

今後、AIとIoTの技術はさらに進化し、歯科医療サービスはもっと個人に合わせたものになるでしょう。また少子高齢化に対応するためのロボットやオートメーション化なども進むと、より事務効率や効率的な歯科医療サービスの提供が可能となります。

しかし、技術の進歩と同時に、セキュリティへの意識も高めていく必要があります。

DXは、技術だけでなく、人々の生活をより良くするためのものであることを忘れてはなりません。

また、これらの技術がもたらすリスク、特にプライバシーとセキュリティの面での課題に対しても、意識を高く持つことが大切です。医療業界におけるDXの進展は、歯科衛生士を始め、医療業界に従事するもの全員の責任と理解のもとで進められるべきです。

AIやIoTが進めるデジタル化は、歯科医療に革命をもたらしました。

これらの技術は、単に作業を効率化するだけでなく、患者さん一人ひとりに合わせた精密なケアを提供することが可能になります。歯科衛生士の皆さんがこの新しい技術を理解し活用することで、より質の高い医療サービスを展開することが期待されます。未来の医療を支える重要な一歩として、ぜひこの変革を自らの手で進めていただきたいと思います。

- ※1 AI(人工知能:エーアイ):コンピュータに人間のような知能を持たせ、学習や問題解決を可能にする技術です。
- ※2 IoT(モノのインターネット:アイオーティ):さまざまなデバイスをインターネットに接続し、データの交換や制御を行う技術です。
- ※3 ディープラーニング(深層学習):多層のニューラルネットワークを使ってデータから複雑なパターンを学習する技術です。人間の脳の仕組みを模倣し、画像や言語などを処理します。
- ※4 DX(デジタルトランスフォーメーション:ディーエックス):デジタル技術を活用して企業や組織のビジネスモデルや業務を根本的に変革することです。

全国各地から 特定非営利活動法人 アダプテッドスポーツ・サポートセンター

令和4年度「地域歯科衛生活動」助成金事業報告
～「噛む」+「スポーツ」で健康長寿を達成しよう～



はじめに

「アダプテッド(適合した)スポーツ」とは、矢部(2004)が提唱した言葉で、特定の競技名ではなく、性別や年齢、体力、スポーツ経験の有無に関わらず、参加する人の心や身体の状態に合わせてルールや用具を工夫し、誰でも気軽に楽しめるスポーツ全般を指します¹⁾。つまりアダプテッドスポーツは、実施する人の特性に適合するように方法や用具、規則を考慮したスポーツといえ、私たち歯科衛生士の業務に通じるところがあります。

近年、歯科界より「口の健康が全身の健康に密接に関わること」が広く発信されています。口腔健康管理の維持・向上には、ライフステージに合わせた正しい歯科保健の知識と生活習慣を身につけることが重要ですが、障がい者(児)の場合は、障害の種類や程度により、通院や口腔内状態を良好に保つことが困難なケースも見受けられます。そのため、障がい者(児)の特性を理解した歯科専門職が関わることが不可欠であり、地域における定期的な歯科検診や相談の体制を充実させるとともに、保健・医療・福祉との連携を密にした環境整備が重要だと考えます。

コロナ禍では、障害者支援の現場において、福祉サービスの提供停止や面会制限、外出制限など、支援体制に大きな影響が生じました。障害を有する場合、健常者より一層外出機会が減少し、健康的な生活が妨げられた可能性も否めません。このような背景を踏まえて、本組織では、ポッチャ大会を開催しました。大会の中で、咀嚼能力測定の機会を設けて、口腔機能から全身の健康を高めることに意識をもついただき、食・栄養・運動の視点から健康長寿の達成へ繋げるための情報を発信することにしました。



ポッチャ2022 in大阪大会



ポッチャ大会の競技の様子

大会概要

実施日: 2022年11月26日(土)

10時~16時

会場: 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

参加者数: 126名

事業内容: 2022年度 I(アイ)ポッチャ2022 in大阪大会にて以下の3つを実施した。

- ① 噛むことと健康に関する講話
- ② 咀嚼能力測定の実施

③ 摂取食品状況や歯科医療受診に関するアンケート調査および歯科保健指導



咀嚼ブースの様子(成人)



咀嚼ブースの様子(小児)

事業内容

① 噛むことと健康に関する講話

大阪歯科大学附属病院 障がい者歯科の田中佑人先生に「噛むことと健康」について講話をお願いしました。内容は、口腔機能が低下すると、食事のバランスが悪くなり、その後運動機能や生理機能を正常に保つことに影響を与えること。その結果、生活習慣病の発症や重症化のリスクが高くなり、全身への影響を及ぼすことが考えられることを説明していただきました。これらを予防するために、自身の口腔機能を客観的に測定することが大事であり、本大会の咀嚼ブースで口腔機能を測ることを促してもらいました。

② 咀嚼能力測定の実施

咀嚼機能の測定場所は大会会場入り口に設置し、UHA味覚糖社の咀嚼能力測定用グミゼリーを使用しました。咀嚼能力測定用グミゼリーは、歯科疾患管理料口腔機能管理加算における咀嚼機能低下の検査項目の1つとして採用されており、方法はグミゼリーを30回自由に咀嚼し、吐き出した咬断片をスコア法にて評価をおこないます。スコア法は、専用の器具を使用しないため、その手軽さから3時間程度で74名の方が体験することができました。測定結果は、専用のパンフレットに記入し(図1)、咀嚼機能の説明を実施しました。

※本大会当時は、大阪府の要請に従い、府が定める様式に基づく感染防止策等を記載したチェックリストを作成し、大会関係者および参加者にて情報共有を行い、感染対策に留意しました。



【図1】咀嚼機能測定のパンフレット

③摂取食品状況や歯科医療受診に関するアンケート調査および歯科保健指導

摂取食品アンケートは、平井式摂取可能食品アンケート表を一部改編して用いました(図2)。このアンケートは、日常的に摂取可能食品を尋ねることで、摂取可能食品の数や種類によって咀嚼機能を判定する主観的評価となります。咀嚼能力測定グミゼリーのスコアとアンケートによる咀嚼機能評価の両方を用いたことは、日常的に摂取している食品を把握することができ、また食事内容や食形態、食に関する変遷を聴取することが目的でした。ただし、咀嚼機能評価においてアンケートを用いることは、あくまでも個人の主観的評価のために、嗜好による影響を受けやすいことが考えられます。しかし、本イベントのように短時間で摂取状況を把握して、食指導を行うケースにおいては有効な手段でした。

摂取可能食品群		標準摂取可能の比
咀嚼難易度 高い	第5群 (生) 人参、たくあん、酢だこ、スルメ、あわび	1
	第4群 (焼) 豚肉、(漬) だいこん、あられ、ピーナッツ、イカ刺身	1.05
	第3群 (焼) 鶏肉、(焼) 鶏肉、りんご、(漬) なす、(生) きゃべつ	1.26
咀嚼難易度 低い	第2群 いちご、ハム、かまぼこ、佃煮ごんぶ、こんにゃく	1.31
	第1群 パナ、(炒め) キャベツ、(煮) 人参、(煮) さといも、(煮) タマネギ	1.77

25品目に対し、咀嚼スコアを算出
 $咀嚼スコア = (a+1.05b+1.26c+1.31d+1.77e) \times 100 / 76.68$

Hirai T et al. International Journal of Prosthodontics 7: 454-460, 1994.

【図2】摂取可能食品アンケート

認定歯科衛生士の活動

本調査には、3名の認定歯科衛生士が参画しました。その役割は、日本障害者歯科学会認定歯科衛生士が、障害特有の基礎的知識や口腔内状況を把握し、日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士が歯科診療における全身管理に関連する相談を担当し、日本スポーツ歯科医学会認定スポーツデンタルハイジニストがスポーツ現場での注意を把握した上で、事業を計画・運営をおこないました。

アンケート結果と考察

アンケート実施者：74名(大会参加者は126名)

年齢：平均46.7歳(±21.6歳)

咀嚼スコア(グミ)：平均6.4(±1.6)

咀嚼スコア(食品)：平均97.6(±7.4)

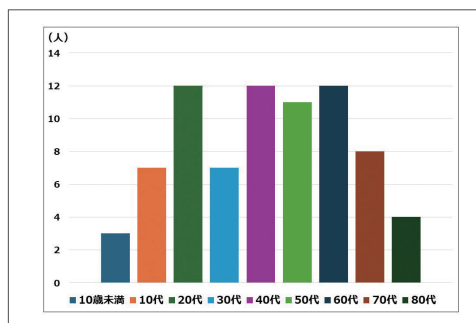
咀嚼能力測定の平均値は、6.4となり、そのうち口腔機能低下症の該当基準値以下の者は1名でした。アンケートより「日常生活の中で噛むことを意識していない」ことや、「噛む食事は時間がかかるので避けている」などの意見がありました。また咀嚼と健康とのつながりを理解できない方が多く、引き続き歯と口腔と全身の健康に関する周知活動が重要であることを感じました。

咀嚼スコア(グミ)と食品可能食品スコアとの間に弱い正相関がありました($r=0.23$, $p=0.046$)。すなわち本調査よりアンケートは、主観的方法ではありながら、客観性も有しており、障がい者(児)に対する大規模調査においては有用性が期待できると考えました。またかかりつけ歯科医を持つ者は81.1%であり、性別では女性のほうが男性よりも、かかりつけ歯科医を持つ割合が高くなる傾向を示しました。さらに女性のうち、かかり

つけ歯科医を持つ群は、持たない群と比較すると、摂取可能食品のスコアがやや高くなる傾向がみられました($p=0.038$)。このことから、かかりつけ歯科医は、口腔機能の維持・向上に有効であることが推察されました。

本調査は、口腔機能の測定をスポーツ大会時における試合前後に生じる空き時間を有意義に活用したことで、多数の方が参加することができました。次に、グミゼリーのスコア法は、評価時に専用の器具を使用しないので、その手軽さから2時間で74名の検査が可能となりました。今後も引き続き、多くの人が参加しやすい事業を通じて、対象者に合わせた口腔衛生の指導や食事環境の整備、食事方法の指導の充実を図りたいと考えています。そして地域における認定歯科衛生士として、安全で安心できる活動の場を模索し、他の認定歯科衛生士や多職種との連携に繋がる取り組みを検討していきたいと考えています。

本活動をおこなうにあたり、費用を助成していただきました日本歯科衛生士会(令和4年度「地域歯科衛生活動」事業助成)に深く感謝いたします。



【図3】咀嚼能力測定参加者の概要(年代別)

出典：1) 佐藤紀子, わが国における「アダプテッド・スポーツ」の定義と障害者スポーツをめぐる言葉, 日大歯紀46, 1-16, 2018.

(特定非営利活動法人アダプテッドスポーツ・サポートセンター 白水 雅子)






ソニックアー
プレミアム
オールインワン
ブラシ

特長 1 歯垢除去
角度のついたブラシがあらゆる角度から歯垢に届く。

特長 2 ステイン除去
毛先一本一本が三角形の形をしているため、気になるステインを除去。

特長 3 歯肉ケア
ブラシヘッドのサイドの毛束で優しくブラッシングし歯肉をケア。



HX9091/25
(ホワイト)



是非、院内セミナーでご体感下さい。院内セミナーのお申込みはこちらから

●仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。
●ご使用に際しましては、製品添付の取扱説明書を必ずお読みください。
輸入元 株式会社フィリップス・ジャパン
販売先 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 ☎564-8650 T 06.6380 2525
東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 ☎110-8513 T 03.3834 6161
お問合せ お客様相談センター <歯科医療従事者様専用> T 0800.222 8020(フリーコール)
www.dental-plaza.com

がんの治療を始める前に歯科に行きましょう

現在、日本では2人に1人ががんになるといわれ、全ての人にとって身近な病気となりました。がんの主な治療法には、手術、薬物療法、放射線治療があり、それぞれの治療に合併症と副作用があります。合併症や副作用は体にさまざまな形で現れ、大切な治療に支障をきたすことがあります。そこで、合併症の予防と副作用の影響を少しでも減らすための治療やケアを行うようになりました。その一つとして、歯科治療やお口のケアが注目されています。「がんを治すのにどうして歯科に行くの?」と思われる方もおられるでしょう。実は、がんの治療とお口の環境は関係があるのです。そのため、治療の前にお口の環境を整えることがとても大切になります。

がんの治療とお口のトラブル

① 手術

【手術後の肺炎や感染】

全身麻酔の手術後に、口の細菌が原因で肺炎を起こすことがあります。

全身麻酔では人工呼吸器を用いて手術中の呼吸を管理します。人工呼吸器のチューブを口から入れて気管まで通します。その際に、口の細菌が人工呼吸器のチューブと一緒に気管に入り込み、肺まで到達することがあります。手術後は免疫力や体力が低下するため、口の中が不潔な状態で全身麻酔を受けると、肺炎のリスクが高まります。また、口や喉のがんの手術では、手術した創部(傷口)が口の細菌により感染を起こすこともあります。肺炎は口のトラブルではありませんが、不衛生な口の環境が引き起こすトラブルです。



【手術時の歯の損傷】

全身麻酔の際、口から挿入する器具により歯の損傷や、歯の被せが欠ける等のトラブルが起こることがあります。また、グラグラと動く歯があると、人工呼吸器を挿入する際に歯が抜けることもあります。



② 抗がん剤治療(薬物療法)

【口腔粘膜炎・口の乾燥・味覚障害】

抗がん剤治療はがん細胞を攻撃しますが、正常な細胞にも影響を及ぼします。口の細胞は抗がん剤の影響を受けやすく、口の乾燥や味覚障害、口腔粘膜炎(口内炎のような症状)が現れることがあります。口腔粘膜炎は、口唇の内側、頬の粘膜、舌の側面や裏側などにできやすく、軽い症状ではしみる程度ですが症状が進むと粘膜が剥がれて潰瘍のようになります。すると痛みが強くなり食事が摂りづらく、体力が低下してしまいます。また、口腔粘膜炎の痛みで歯が磨けなくなると口の中の細菌が増え不潔な環境になります。口腔粘膜炎が現れる時期は、血液を作る骨髄の働きも低下するため白血球が少なくなり細菌に感染しやすい状態です。口腔粘膜炎が細菌感染で重症化すると体へのダメージが大きく、がん治療の継続が難しくなることがあります。



口の乾燥は舌の痛み、食事や会話のしづらさやむし歯の進行、味覚障害は食欲低下につながることがあります。(副作用は薬剤の種類や量により異なり、症状には個人差があります。)

歯周病菌とたたかう

G·U·M®

増殖原因(F.n.菌)にまで働く 殺菌力+抗炎症で歯周病予防

化学式: $\text{N}^+(\text{CH}_2)_{15}-\text{CH}_3$
 Cl^-

ガム・プロズは
P.g.菌の
増殖原因へ
アプローチ

G·U·M Pro's Haguki Lab. シリーズ

ガム・プロズ デンタルペースト Haguki Lab.
患者様希望価格 85g 935円(税込)
香 味: メディカルハーブミントタイプ
販売名: 薬用サンスターデンタルペーストSH
効 能: 歯周病(歯肉炎・歯周炎)予防
高濃度フッ素1450ppm ※6歳未満のお子様へのご使用はお控えください。

医薬部外品 薬用ハミガキ

ガム・プロズ デンタルリンス Haguki Lab.
患者様希望価格 500mL 935円(税込)
香 味: メディカルハーブミントタイプ
販売名: 薬用G·U·MデンタルリンスSH
効 能: 歯周病(歯肉炎・歯周炎)予防
低刺激ノンアルコールタイプ ※液体ハミガキは、ブラッシング時に使用してください。

医薬部外品 液体ハミガキ

製品についてのご質問・ご不明な点は、下記へお問い合わせください。 ®登録商標。G·U·Mは登録商標です。

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号 TEL:072-682-4733 (受付時間:平日9:00~17:00) FAX:072-684-5669 2404HR作成

③ 口や喉のがんの放射線治療

【口腔粘膜炎・口や喉の乾燥・唾液分泌低下】

放射線治療は、がん細胞に放射線をあてて死滅させます。放射線治療の進歩により、がん細胞にターゲットを絞って放射線をあてられるようになりましたが、それでも周りの細胞に放射線があたり、皮膚炎や粘膜炎等の副作用が出てしまいます。特に細胞分裂が速い口の周囲の細胞は放射線の影響を強く受けます。そのため、口や喉のがんでは放射線があたる範囲に粘膜炎が起こります。放射線治療による口腔粘膜炎は、放射線をあてる回数が増えると炎症が強くなり、治療終了後もしばらく炎症が続きます。そのため、口腔粘膜炎の痛みをコントロールしないと食事が摂りづらい状態が長く続き、体力が低下してしまいます。

唾液を作る唾液腺に放射線があたると唾液が少なくなり、口や喉の乾燥がひどくなります。口の乾燥は治療が終了しても長く続くことがあります。唾液は歯を強くする働きがありますが、長期間にわたり唾液が少なくなると歯がもろくなります。特に、歯周病により歯肉が痩せた歯は、歯根からむし歯になることがあります。



お口のケアでトラブル予防!

がんの治療前に口の環境を整えることが大切です。歯科医師や歯科衛生士による専門的なケアを受けて口の細菌数を減らしましょう。また、歯科を受診した後も口の中をきれいに保つために、歯磨きについてアドバイスをを受け、歯間ブラシやフロスなども活用し丁寧なセルフケアを行うことが大切です。入れ歯も清潔にしましょう。もし、がんの治療中に口腔粘膜炎が起きたら、刺激の少ない歯磨きの方法やケア用品についてアドバイスをを受け、口の中を清潔に保つようしましょう。口腔粘膜炎の痛みが強い場合は痛みや刺激を緩和する含嗽剤(うがい液)や粘膜保護材について歯科医師に相談することをお勧めします。口の乾燥が強い場合は、口唇や口の中の保湿対策が必要になります。保湿剤や洗口液についてご相談ください。



歯の治療や入れ歯の調整も大切です!

安全に全身麻酔を受けてもらうために、歯の状態に応じて全身麻酔時の歯の保護用マウスピースを作る場合があります。ただし、マウスピースの作製は日数を要するので早めの歯科受診をお勧めします。むし歯で欠けた歯や尖った歯がある場合、口の粘膜や舌が傷つき口腔粘膜炎の原因になることがあります。また、適合の悪い入れ歯の使用も口の粘膜を傷つける原因となります。特に口が乾燥するとわずかな刺激でも粘膜が傷つくことがあります。がんの治療までに歯の治療(応急処置の場合もあります)、入れ歯の調整を受けることも副作用の軽減に繋がります。



★がんの治療を支援します★

がん治療中のお口のトラブルは患者さん一人一人異なります。歯科医師・歯科衛生士は、お口のケアや治療を通して、がん治療による苦痛を最小限に抑え、食べる・話すなど生活に必要なお口の働きを守り、がんの治療が計画通り行われるように患者さんを支援します。お口の困りごとがあれば、まずは歯科にご相談ください。

出典：https://ganjoho.jp/public/knowledge/basic/index.html 国立がん研究センターがん情報サービス「がんという病気について」
 https://www.jda.or.jp/care/公益社団法人日本歯科医師会「治療前からの口のお口のケアのすすめ」 (公益社団法人 日本歯科衛生士会 病院委員会)

月刊 デンタルハイジーン 別冊

臨床の **?** が **!** に変わる!

ペリオ&インプラントの 疑問とエビデンス

大月基弘 編著

歯周治療とインプラントのメインテナンスに、
根拠と自信をもって取り組むために!

歯科衛生士にとって身近な歯周治療とインプラント治療の疑問をエビデンスに基づいて徹底解説! 明日からの臨床を根拠と自信をもって進めるためのガイドブックです。

- AB判 / 136頁 / カラー
- 定価 3,850円(本体 3,500円+税10%)
- 注文コード: 390730

デンタルハイジーン BOOKS

対話形式でわかる! 歯科医院で伝えたい 栄養のこと

手塚文栄 編著

これならできるかも!
食生活や食習慣の指導がもっと楽しくなる本!

「歯科医院での食事指導ってどんなことなの?」「歯科衛生士に必要な栄養の知識は?」…歯科衛生士ができる食事指導について、対話形式で分かりやすくまとめました!

- A5判 / 136頁 / 2色刷り
- 定価 3,960円(本体 3,600円+税10%)
- ISBN978-4-263-46332-1

業界トップランナーと
100年時代の“お口の未来”を考える1日

参加費
無料
先着順

(公財)ライオン歯科衛生研究所
財団設立60周年記念イベント



介護士



歯科衛生士

オーラル 未来会議



歯科医師

日時 2024年10月27日(日)
ハイブリッド開催

会場参加

オンライン参加

さまざまな職種の
参加大歓迎!

時間 13:30~16:30(仮)

会場 JPタワーホール&カンファレンス

東京駅
丸の内口直結

対象 歯科衛生士、歯科医師、看護師、栄養士、介護士 など

第1会場

これを聞けばヘルスケアの未来が分かる!

基調講演

特別ディスカッション

各領域の最先端研究者が考える
100年時代の口腔と
健康の在り方

講演A

歯科衛生士必見!

脳科学の専門家が語る
科学的
コミュニケーション

講演B

現場のリアルなお悩みを解消!

患者・歯科医師・歯科衛生士、
全方位コミュニケーションの
お悩み相談会

第2会場

講演C

オーラルケアがカギ!

フレイルを防ぐ、最新の
疫学研究からみえた
予防歯科

講演D

常識が変わる!

各分野の専門家と考える
フレイル予防の
新しいカタチ

お申込方法

お申し込み、プログラムの
詳細はこちらから。



先着順で受け付け中!